

平成27年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年11月14日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社ジー・テイスト

コード番号 2694 URL <http://www.g-taste.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 杉本 英雄

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 稲角 好宣

四半期報告書提出予定日 平成26年11月14日

TEL 052-910-1729

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第2四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第2四半期	13,663	43.4	391	17.8	379	21.9	316	△51.8
26年3月期第2四半期	9,529	—	332	—	311	—	657	—

(注) 包括利益 27年3月期第2四半期 316百万円 (△51.8%) 26年3月期第2四半期 657百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第2四半期	1.90	1.31
26年3月期第2四半期	6.22	4.20

(注) 平成26年3月期第2四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、平成26年3月期第2四半期の対前年四半期増減率については記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年3月期第2四半期	19,121	8,426	44.1
26年3月期	19,255	8,725	45.3

(参考) 自己資本 27年3月期第2四半期 8,425百万円 26年3月期 8,725百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	0.00	—	0.50	0.50
27年3月期	—	0.00	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	27,700	16.7	970	14.7	950	14.2	750	13.8	4.52

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
 新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年3月期2Q	171,391,653 株	26年3月期	168,369,394 株
② 期末自己株式数	27年3月期2Q	5,708,316 株	26年3月期	2,416 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年3月期2Q	166,315,448 株	26年3月期2Q	105,697,566 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しており、四半期レビュー報告書を本日付で受領しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1.本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

2.平成27年3月期の期末配当予想につきましては、消費税増税による影響等、事業環境の先行きが不透明であることから現時点では未定とし、業績等を総合勘案いたしました上で速やかに開示するものといたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

（1）経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の経済政策や、金融政策の効果を背景に、企業収益の改善とともに雇用情勢においても改善がみられる等、緩やかな景気の回復基調にあります。その一方で、消費税率の引き上げや、輸入原材料等の価格上昇等により、個人消費の足踏みが懸念される等、依然として先行きは不透明な状況が続いております。

外食産業におきましても、原材料価格の高騰、消費税増税による個人の消費マインド減退に加え、採用難に伴う人材不足や人件費関連の高騰等の懸念もあり、取巻く経営環境は引き続き厳しい状況となっております。

このような状況の中、当社グループでは、匠の目で厳選した安心・安全な牛肉をリーズナブルな価格で提供することを実現させた国産牛食べ放題「肉匠 坂井」を、6月下旬にオープンいたしました。今後、新業態として複数店舗の出店も視野に入れていきたいと考えております。この他、お客様にご満足頂ける商品提供への取り組みといたしまして、回転寿司業態の平禄寿司においては、「豊の秋めぐり」等の季節限定キャンペーンを中心に生ネタやアラカルト商品の開発を実施し、同様に居酒屋業態でも、期間限定メニューを実施するとともに、「うな井」「箱うに井」「とろかつお 手こね寿司」等の商品開発を行ってまいりました。

また、本格中国料理業態の敦煌では、業態としての40周年記念企画として、ご飲食総額の半額相当分を敦煌お食事割引券にてキャッシュバックを行いました。この他、当社においても、当年11月に創業55周年を迎えることから、引き続きお客様に楽しんで頂ける魅力ある店舗づくりに取り組んでまいります。

教育事業部に関しては、英会話校舎での「お試し留学（7,000円で5レッスン）」の訴求により新規入会生徒の獲得を強化するとともに、学習塾校舎では、「夏期講習」の受講が堅調に推移いたしました。また、新たに英会話教室を1校舎、学習塾を1校舎新規に開校しております。

当第2四半期連結累計期間においては、新規に外食事業において1店舗（フードコート業態）、教育事業において2校舎をオープンいたしました。その他、不採算店4店舗の閉店、フランチャイジーからの店舗買取による純増4店舗となりました結果、外食直営店舗367店舗、教育100校舎となりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間におきましては、売上高136億63百万円（前年8月に実施した兄弟会社との統合により、前年同期比43.4%増）、営業利益3億91百万円（前年同期比17.8%増）、経常利益3億79百万円（前年同期比21.9%増）、四半期純利益3億16百万円（前年同期に法人税等調整額4億24百万円の計上を行っており、前年同期比51.8%減）となりました。

なお、外食事業以外の事業の重要性が乏しいため、セグメント情報ごとの記載を省略しております。

（2）財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の総資産額は、191億21百万円となり、前連結会計年度末と比較し、1億33百万円減少しました。主な要因は、現金及び預金が増加する一方で、敷金及び保証金及び消費税等の還付により流動資産その他が減少したことによるものであります。

負債総額は、106億95百万円となり、前連結会計年度末と比較し、1億64百万円増加いたしました。主な要因は、買掛金及び新株予約権付社債が減少する一方で、関係会社長期借入金が増加したことによるものであります。

純資産総額は、84億26百万円となり、前連結会計年度末と比較し、2億98百万円減少いたしました。主な要因は、四半期純利益の計上及び転換社債型新株予約権付社債の権利行使に伴い、資本金及び資本準備金が増加する一方で、自己株式の取得により自己株式が増加したことによるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年3月期の通期の連結業績予想につきましては、平成26年5月14日公表の業績予想から変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,760,914	3,018,969
受取手形及び売掛金	347,809	329,642
商品及び製品	79,672	81,951
仕掛品	2,047	906
原材料及び貯蔵品	204,515	207,768
その他	1,122,430	943,294
貸倒引当金	△13,957	△13,344
流動資産合計	4,503,433	4,569,187
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	3,881,463	3,784,673
土地	4,558,347	4,558,347
その他（純額）	335,749	341,326
有形固定資産合計	8,775,560	8,684,347
無形固定資産		
のれん	167,137	151,076
その他	170,712	166,978
無形固定資産合計	337,849	318,055
投資その他の資産		
敷金及び保証金	4,616,835	4,527,396
その他	1,398,255	1,394,824
貸倒引当金	△376,310	△371,970
投資その他の資産合計	5,638,781	5,550,250
固定資産合計	14,752,190	14,552,653
資産合計	19,255,623	19,121,840
負債の部		
流動負債		
買掛金	890,735	665,769
短期借入金	491,666	466,664
1年内償還予定の新株予約権付社債	330,000	-
関係会社短期借入金	1,909,000	1,909,000
1年内返済予定の関係会社長期借入金	-	349,999
未払法人税等	75,393	45,919
引当金	66,672	44,202
資産除去債務	2,128	2,104
その他	2,239,275	2,114,282
流動負債合計	6,004,871	5,597,942
固定負債		
新株予約権付社債	2,948,869	2,953,163
関係会社長期借入金	-	591,666
退職給付に係る負債	44,670	44,174
資産除去債務	811,451	823,477
その他	720,577	684,922
固定負債合計	4,525,569	5,097,405
負債合計	10,530,441	10,695,347

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	100,000	242,500
資本剰余金	7,557,326	7,699,826
利益剰余金	1,068,034	1,300,481
自己株式	△178	△817,216
株主資本合計	8,725,182	8,425,590
その他の包括利益累計額		
その他の包括利益累計額合計	-	-
新株予約権	-	902
純資産合計	8,725,182	8,426,492
負債純資産合計	19,255,623	19,121,840

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
売上高	9,529,478	13,663,000
売上原価	3,375,601	4,838,205
売上総利益	6,153,876	8,824,795
販売費及び一般管理費	5,821,661	8,433,528
営業利益	332,215	391,266
営業外収益		
受取利息	4,429	4,930
受取配当金	131	438
業務受託料	13,827	34,678
その他	6,467	38,249
営業外収益合計	24,855	78,297
営業外費用		
支払利息	14,310	28,058
支払手数料	28,182	58,275
その他	3,119	3,593
営業外費用合計	45,612	89,926
経常利益	311,457	379,636
特別利益		
固定資産売却益	19,119	-
特別利益合計	19,119	-
特別損失		
固定資産除却損	702	15,835
店舗閉鎖損失	-	1,926
店舗閉鎖損失引当金繰入額	16,779	940
減損損失	35,003	32,014
特別損失合計	52,486	50,716
税金等調整前四半期純利益	278,091	328,920
法人税、住民税及び事業税	45,786	61,022
法人税等調整額	△424,714	△48,731
法人税等合計	△378,927	12,290
少数株主損益調整前四半期純利益	657,018	316,630
四半期純利益	657,018	316,630

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

	(単位:千円)	
	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	657,018	316,630
その他の包括利益		
その他の包括利益合計	-	-
四半期包括利益	657,018	316,630
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	657,018	316,630

（3）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

	(単位：千円)	
	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	278,091	328,920
減価償却費	186,346	275,851
のれん償却額	16,060	16,060
賞与引当金の増減額（△は減少）	△18,639	△14,734
貸倒引当金の増減額（△は減少）	△5,386	△4,952
退職給付引当金の増減額（△は減少）	△3,560	-
退職給付に係る負債の増減額（△は減少）	-	△495
店舗閉鎖損失引当金の増減額（△は減少）	904	△7,736
受取利息及び受取配当金	△4,560	△5,368
店舗閉鎖損失	-	1,926
減損損失	35,003	32,014
支払利息及び社債利息	14,310	28,058
固定資産除売却損益（△は益）	△18,416	15,835
売上債権の増減額（△は増加）	81,136	56,044
たな卸資産の増減額（△は増加）	43,062	△4,389
仕入債務の増減額（△は減少）	△147,039	△224,966
未払消費税等の増減額（△は減少）	19,769	△56,956
未収消費税等の増減額（△は増加）	-	132,159
その他	△226,834	△4,365
小計	250,247	562,905
利息及び配当金の受取額	2,424	2,592
利息の支払額	△7,477	△24,558
法人税等の支払額	△108,772	△75,568
営業活動によるキャッシュ・フロー	136,422	465,372
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△257,965	△200,510
有形固定資産の売却による収入	28,346	-
資産除去債務の履行による支出	△17,537	△17,367
投資有価証券の取得による支出	△13,425	-
敷金及び保証金の差入による支出	△198,417	△51,917
敷金及び保証金の回収による収入	97,059	85,527
貸付けによる支出	△290	-
貸付金の回収による収入	2,113	4,290
その他	459	△4,816
投資活動によるキャッシュ・フロー	△359,658	△184,793
財務活動によるキャッシュ・フロー		
関係会社短期借入金の純増減額（△は減少）	△50,000	-
短期借入金の純増減額（△は減少）	△60,000	△25,002
関係会社長期借入れによる収入	-	1,000,000
関係会社長期借入金の返済による支出	-	△58,333
社債の償還による支出	-	△30,000
リース債務の返済による支出	△10,726	△6,940
自己株式の取得による支出	△19	△819,703
新株予約権の発行による収入	-	902
配当金の支払額	△7	△83,447
財務活動によるキャッシュ・フロー	△120,754	△22,523

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△343,990	258,055
現金及び現金同等物の期首残高	1,367,297	2,760,914
合併に伴う現金及び現金同等物の増加額	319,553	-
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,342,861	3,018,969

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

(1) 当社は、平成26年5月14日開催の取締役会の決議に基づき、自己株式の取得を行いました。この結果、当第2四半期連結累計期間において自己株式が816,968千円増加し、単元未満株式の買取りによる増加69千円を含め、当第2四半期連結会計期間末において自己株式は817,216千円となりました。

(2) 当第2四半期連結累計期間において、第1回無担保転換社債型新株予約権付社債について、一部権利行使があり、資本金142,500千円、資本準備金142,500千円がそれぞれ増加いたしました。これにより、当第2四半期連結会計期間末の資本金及び資本剰余金の残高は、それぞれ242,500千円、7,699,826千円となりました。